

1. 科目名 (単位数)	教職実践演習 (幼稚園) (2単位)	3. 科目番号	SJTC4575
2. 授業担当教員	関 容子		
4. 授業形態	演習、グループ討議、ロールプレイング	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教職に関する単位を取得してから履修することが望ましい。 該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、幼稚園教諭の資格課程登録者のみとする。		
7. 講義概要	教員に求められる事項として、中教審答申では次の4つを挙げている。すなわち、①使命感や責任感・教育的愛情に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児理解や学級経営に関する事項、④保育内容等の指導力に関する事項である。本科目では、これらについて履修カルテを見直すとともに教育実習での自分自身の実践を振り返って自己課題を見出し、課題解決の方策を自分たちで検討する学習のプロセスを経て、実践的指導力を身に付けるようにする。		
8. 学習目標	1. 実習を通して、幼児教育に関する自己課題を見出すことができる。 2. 教員に求められる資質 (職務への使命感・責任感、幼児に対する愛情) を理解し、自ら振り返る。 3. 幼児理解や学級経営に関する基礎的な能力を身に付ける。 4. 社会性や対人関係能力を身に付ける。 5. 保育内容や指導力に関する実践力を身に付ける。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題を課す。 実習をとおして学んだことを振り返る。園での具体的な取り組みや求められる視点、留意点、記録など、子どもの育ちや保育者の意図、保護者の願いなど、幼児教育の現場における諸問題とともに考え、深める。自分はどのような保育を实践したいのか、そのために専門家として求められる力を具体的にイメージし、レポートを作成する。		
10. 教科書・参考書・教材	必要に応じてプリントを配布する。 参考書は、適宜授業の中で提示する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1 教員に求められる資質 (職務への使命感・責任感、幼児に対する愛情) を理解し、ふるまえるか。 2 幼児理解やクラス経営に関する基礎的な能力を身に付け、説明でき、ふるまえるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度およびレポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の30% 2 期末レポート 総合点の30% 3 課題レポート 総合点の20% 4 日常の学習状況 総合点の20%		
12. 受講生へのメッセージ	実習を振り返り、履修カルテを活用しながら自分の得意分野を自覚するとともに、自己の課題を明確にし、その解決方途を具体的に策定する。現場の生活場面を多角的に捉えて学ぶなかで、各回の授業内容が絡み合うことがある。そのため進度を調整することがある。現場での実践をイメージしながら、保育者に求められる資質能力や状況に応じた実践的指導力を意識し、授業に臨んでほしい。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション:本演習の目的と展開方法について履修カルテの意義	事前学習	幼児教育の専門性の内容の復習
		事後学習	履修カルテの活用法。これまでの実習の反省からの自己課題を整理する。
第2回	自己課題の克服に向けて	事前学習	履修カルテや教育実習を振り返り、自己課題を明確にする。
		事後学習	各自で期日を設定し、学習方法の計画を策定する。
第3回	養成課程における学びの総括① (使命感・責任感)	事前学習	学びの総括①の意味することについての予習。
		事後学習	実践の具体例、およびその手順について文章化する。
第4回	養成課程における学びの総括② (幼児理解・状況に応じた対応)	事前学習	学びの総括②の意味することについての予習。
		事後学習	実践の具体例、およびその手順について文章化する。
第5回	養成課程における学びの総括③ (社会人としての基本・保護者、地域との連携協力)	事前学習	学びの総括③の意味することについての予習。
		事後学習	自己反省と改善の内容、実践の具体例とその手順を文章化する。
第6回	養成課程における学びの総括④ (生活場面に即したコミュニケーション)	事前学習	学びの総括④の意味することについての予習。
		事後学習	実践の具体例、およびその手順について文章化する。
第7回	養成課程における学びの総括⑤ (保育者間の人間関係、保護者対応の基本)	事前学習	保育において保育者間の協力の必要性と保護者対応について予習。
		事後学習	実習における職場の人間関係の体験について振り返る。保護者対応における保育者の

			基本的役割について整理する。
第 8 回	養成課程における学びの総括⑥ (保護者との望ましい関係)	事前学習	保護者の抱える問題を調べる。
		事後学習	保護者との望ましい関係について、実践の具体例をあげてみる。
第 9 回	養成課程における学びの総括⑦ (教育課程の理解と基礎知識・技能)	事前学習	学びの総括⑦の意味することについての予習。
		事後学習	計画作成の留意点を整理する。
第 10 回	養成課程における学びの総括⑧ (保育環境・保育内容・教材分析・評価改善)	事前学習	学びの総括⑧の視点から自身の責任実習を振り返り整理しておく。
		事後学習	子どもたちの興味、関心、発達に応じたねらい、内容であったか。その過程を整理する。
第 11 回	養成課程における学びの総括⑨ (音楽・造形・身体・言語など表現方法の観点から)	事前学習	責任実習での展開方法の問題点を整理しておく。
		事後学習	責任実習での保育展開(一日の流れ、今後の活動のつながり)のポイントについて確認するとともに、基本的な技術の習得について自覚する。
第 12 回	保育場面における具体的な対応とその意味①	事前学習	実習中、印象に残った場面を振り返り、子ども、保護者、保育者の動き、疑問点を書きだす。
		事後学習	保育実践の意味、根拠、必要な知識についてまとめる。
第 13 回	保育場面における具体的な対応とその意味②	事前学習	具体事例をあげ、その時の保育者の対応について振り返る
		事後学習	保育の実際を具体的に記録する。
第 14 回	保育場面における具体的な対応とその意味③ 新任保育者に期待されることについて、現場の実践者から学ぶ	事前学習	現場に求められる記録には、どのようなものがあるか書き出す。
		事後学習	各記録に求められる重要な項目、視点について、その意味を考えまとめる。 実践者からの学びを、現場でどう生かすか具体的に整理する。
第 15 回	幼稚園教諭としての成長と専門性の習得 まとめレポート	事前学習	履修カルテと本授業の学びをもとに、専門性の修得についての自己評価をする。
		事後学習	これまでの学びを振り返り、保育現場での働きをイメージする。